

図 5 は、喫煙可能性との関連を見たグラフである。分散分析では統計学的に有意な差があることが示された (分散分析 $P < 0.001$)。性別と年齢を調整した共分散分析でも同様な結果であった ($P < 0.001$)。多重比較を行うと 300 円でも高いと回答したグループ ($P = 0.03$) および 300 円以上なら吸わないと回答したグループ ($P < 0.001$) は、ともに値段に関係なく吸わないと回答したグループより統計学的に有意に高い平均得点であることが示された (P 値は、Holm の方法による調整済み)。

図 6 は、加濃式社会的ニコチン依存度得点を 3 区分 (10 未満、10 以上 20 未満、20 以上) し、区分内での喫煙可能性の割合を示したものである。点数が低いグループは、値段に関わらず吸わないという回答が多く、点数が高いグループは、300 円以上なら吸わないという回答が多かった (Fisher の正確確率検定 $P = 0.007$)。

図 7 は、20 歳以上の回答者における喫煙状況と加濃式社会的ニコチン依存度得点との関連を示した図である。現喫煙者や前喫煙者は、非喫煙者に比べ、高い得点分布であることがわかる。

○考察

図 5・6 の値段による喫煙意思を喫煙可能性とした理由は、図 7 にあるように、喫煙している者のほうが高い点数であるという事実(3)からの推測である。「300 円でも高い」や「いくら以上なら吸わない」という回答は、喫煙に対し親和性や現実味を持っている点で、喫煙可能性を予測する回答になりうるのではないか。

○結論

結論として、15-19 歳の未成年において、加濃式社会的ニコチン依存度は、喫煙可能性 (値段による喫煙意思) と関連していた。

○参考文献

1. 吉井千春, 加濃正人, 相沢政明, et al. 加濃式社会的ニコチン依存度調査票の試用 (製薬会社編). 日本禁煙医師連盟通信 2004;13:6-11.
2. 吉井千春, 加濃正人, 稲垣幸司, et al. 加濃式社会的ニコチン依存度調査票を用いた病院職員 (福岡県内 3 病院) における社会的ニコチン依存の評価. 日本禁煙学会雑誌 2007;2:6-9.
3. Yoshii C, Kano M, Isomura T, et al. Innovative questionnaire examining psychological nicotine dependence, "The Kano Test for Social Nicotine Dependence (KTSND)". J UOEH 2006;28:45-55.

未成年の喫煙に対する認識と 喫煙可能性との関連

群馬大学大学院医学系研究科

社会環境医療学講座 生態情報学分野

大谷哲也

目的

- 社団法人中央調査社による2006年度個人オムニバス調査データの一部を使って、未成年の喫煙に対する認識と喫煙可能性との関連を検討した

方法

- 厚労科研・林班によって実施された調査
 - 2007年2月に中央調査社に委託・実施
- 毎月実施の対面世論調査
- 住民基本台帳から二段階抽出
 - 日本の人口を反映
- 1401名から回答あり
- 未成年(15-19歳)は85名回答
- 加濃式ニコチン依存度調査票得点
- 性別・年齢・喫煙可能性(値段による喫煙意思)

表1 加濃式社会的ニコチン依存度調査票 (KTSND) Ver.2.1 質問

1. タバコを吸うこと自体が病気である。
2. 喫煙には文化がある。
3. タバコは嗜好品(しこうひん: 味や刺激を楽しむ品)である。
4. 喫煙する生活様式も尊重されてよい。
5. 喫煙によって人生が豊かになる人もいる。
6. タバコには効用(からだや精神に良い作用)がある。
7. タバコにはストレスを解消する作用がある。
8. タバコは喫煙者の頭の働きを高める。
9. 医者はタバコの害を騒ぎすぎる。
10. 灰皿が置かれている場所は、喫煙できる場所である。

そう思う(3) ややそう思う(2) あまりそう思わない(1) そう思わない(0)の4件法

()は得点。質問1のみ得点が逆転している。合計得点が、0点から30点に分布する。

喫煙可能性(値段による喫煙意思)

Q7. 【回答票】 たばこの値段ですが、今は多くの製品は20本入り1箱300円です。将来、あなたが、たばこを吸う立場にたった時、たばこの値段が一箱いくらくらいだったら、たばこを吸おうとは思わないですか。

- 1 (ア) 値段に関係なく吸わないと思う
- 2 (イ) 300円でも高いと思う
- 3 (ウ) 一箱 円以上だったら吸わないと思う (具体的な金額をお答え下さい)

<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
----------------------	----------------------	----------------------	----------------------

円以上【調査員注：金額を記入】

- 4 わからない . . .

图1 年齢と加濃式社会的ニコチン依存度得点

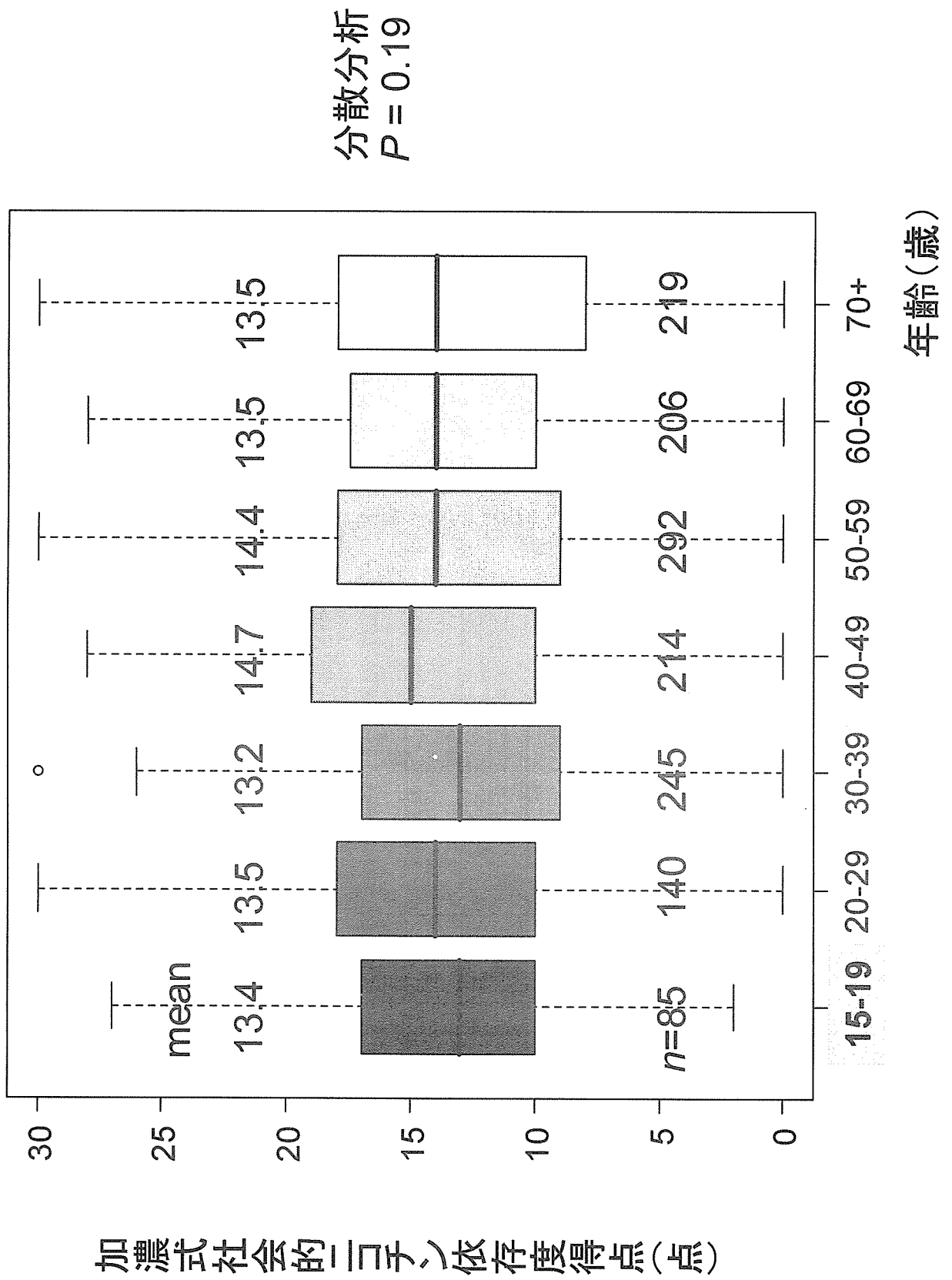


図2 未成年の加濃式の社会的ニコチン依存度得点分布

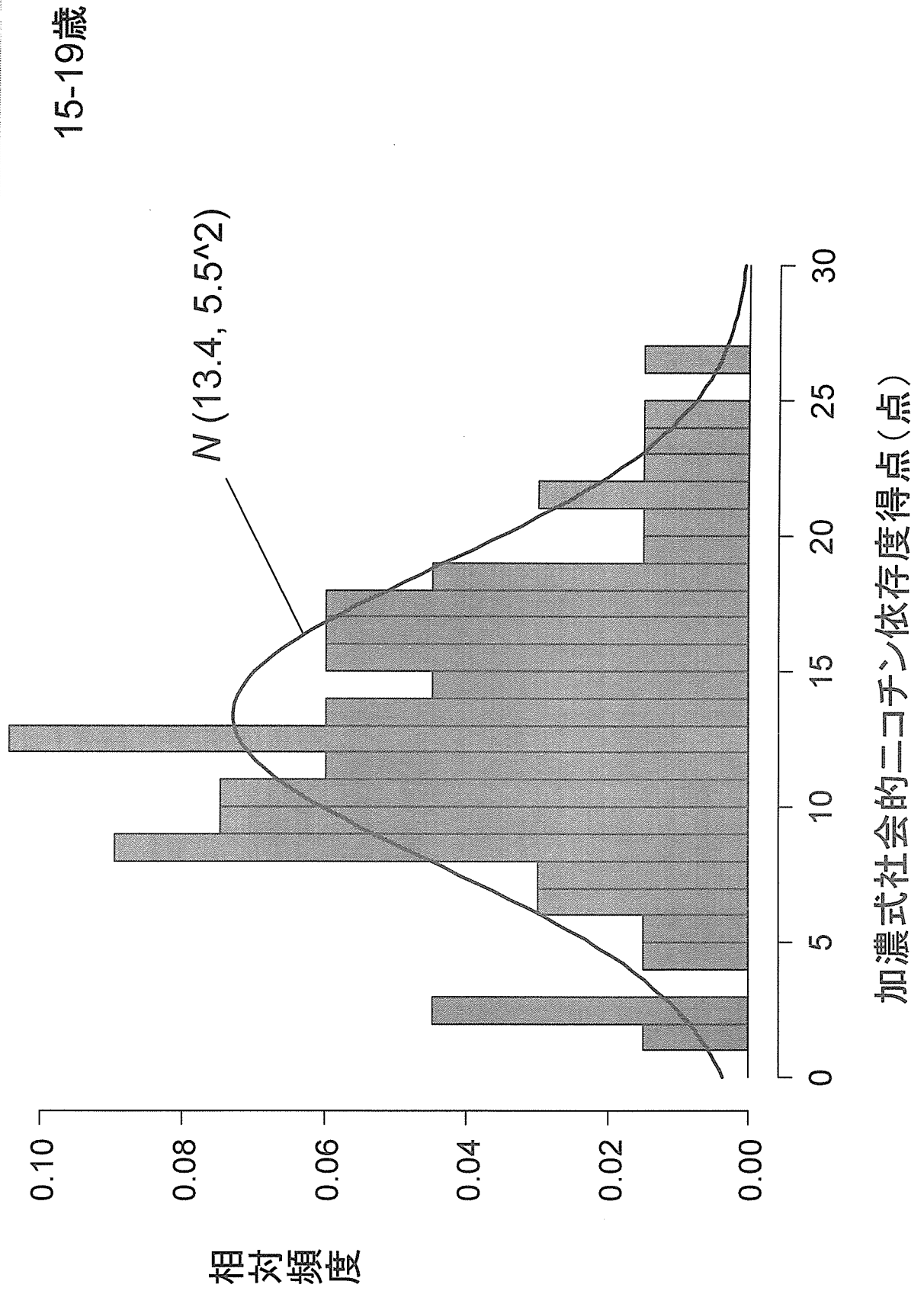


图3 年齢と加濃式社会的ニコチン依存度得点

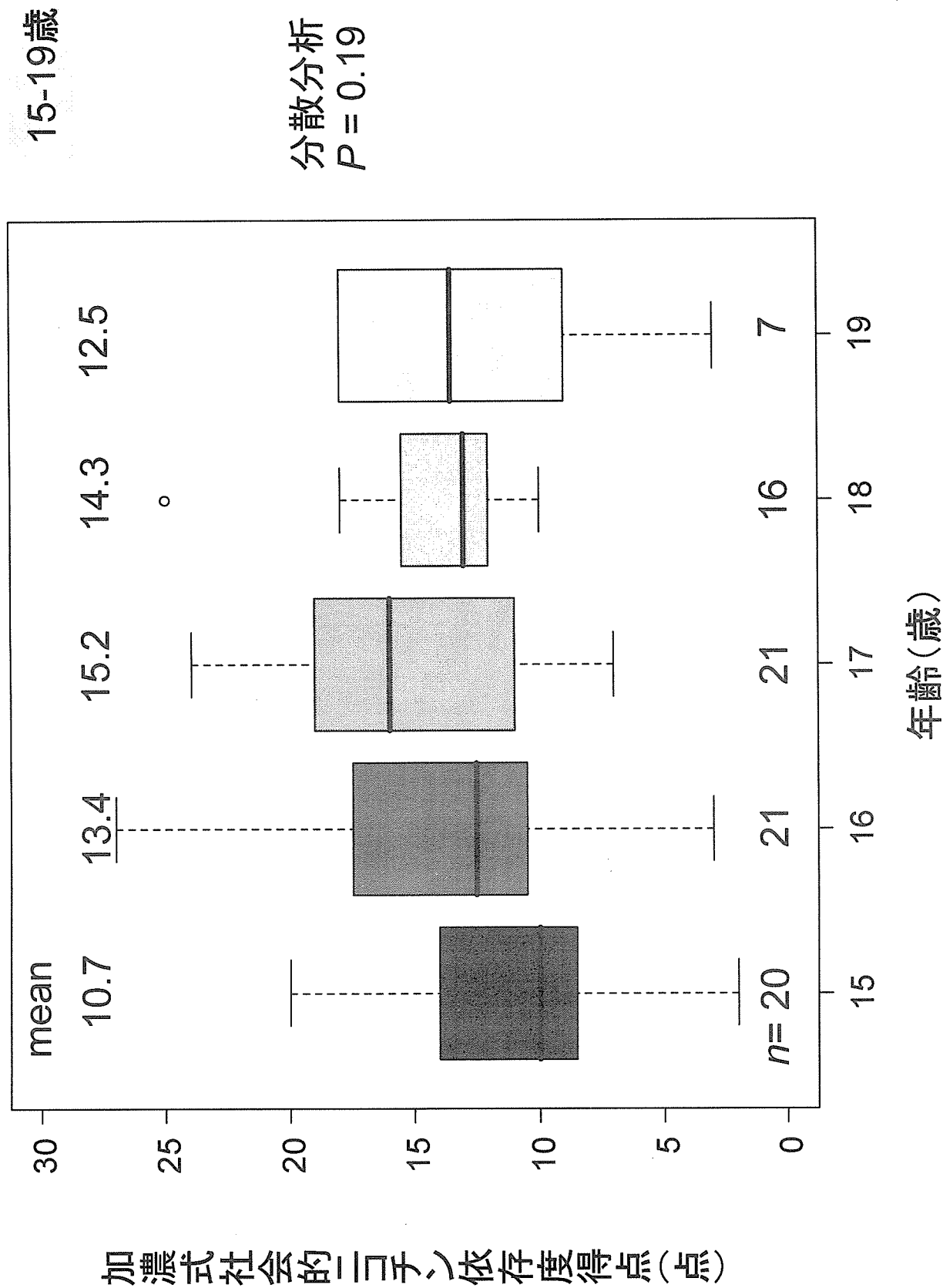


図4 性別と加濃式社会的ニコチン依存度得点

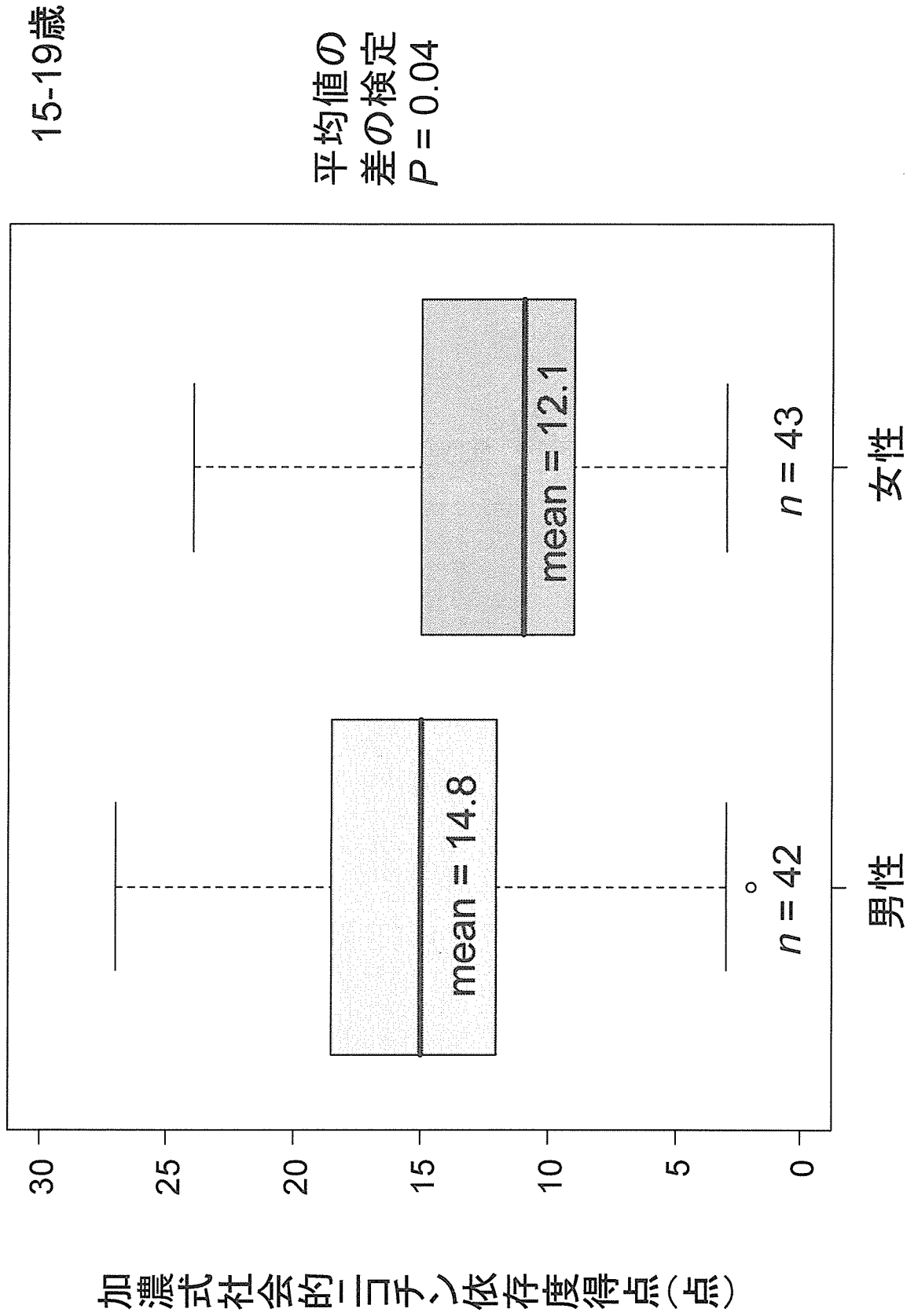


図5 喫煙可能性と加濃式社会的ニコチン依存度得点

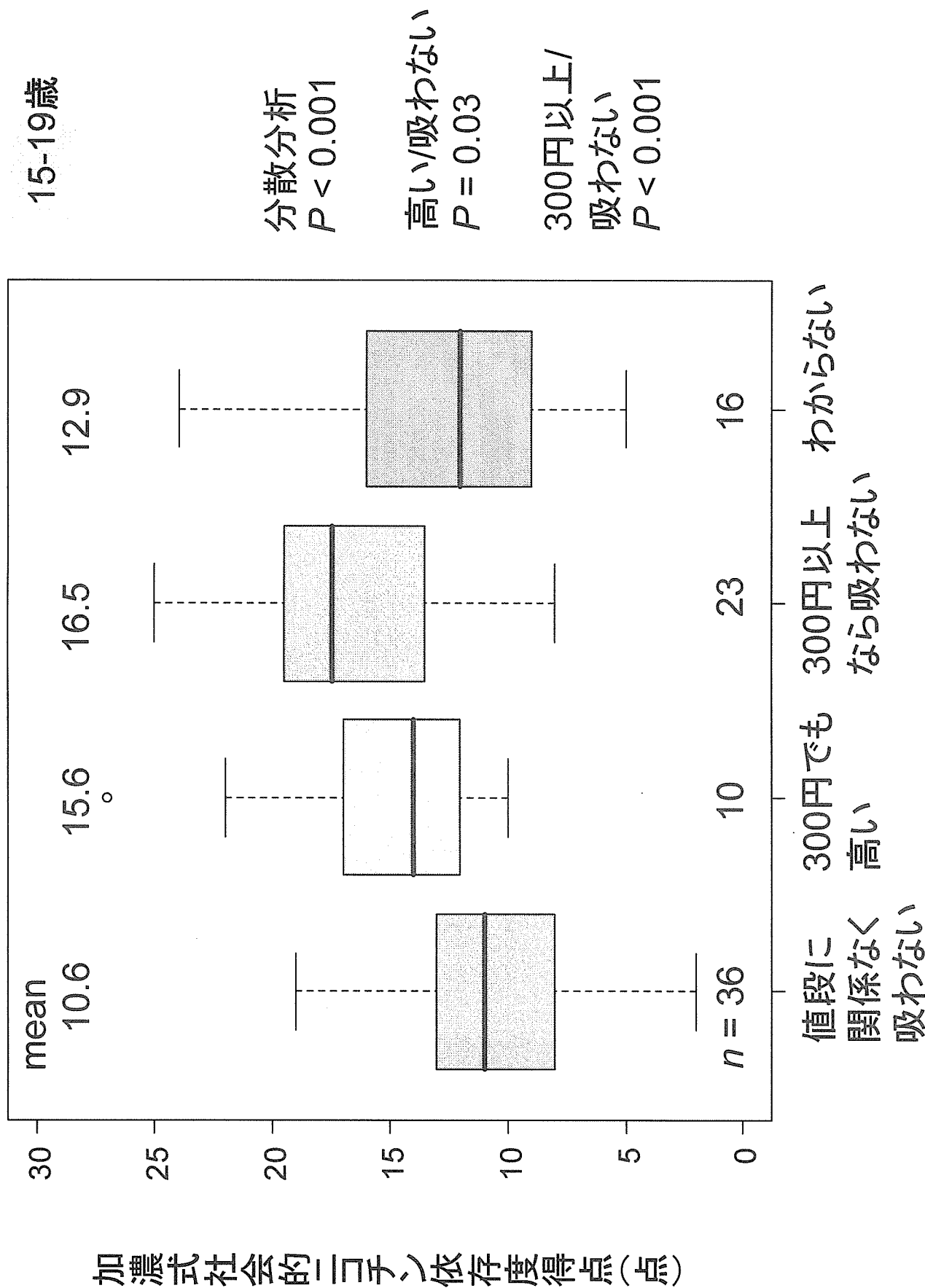


図6 依存度得点別喫煙可能性の割合

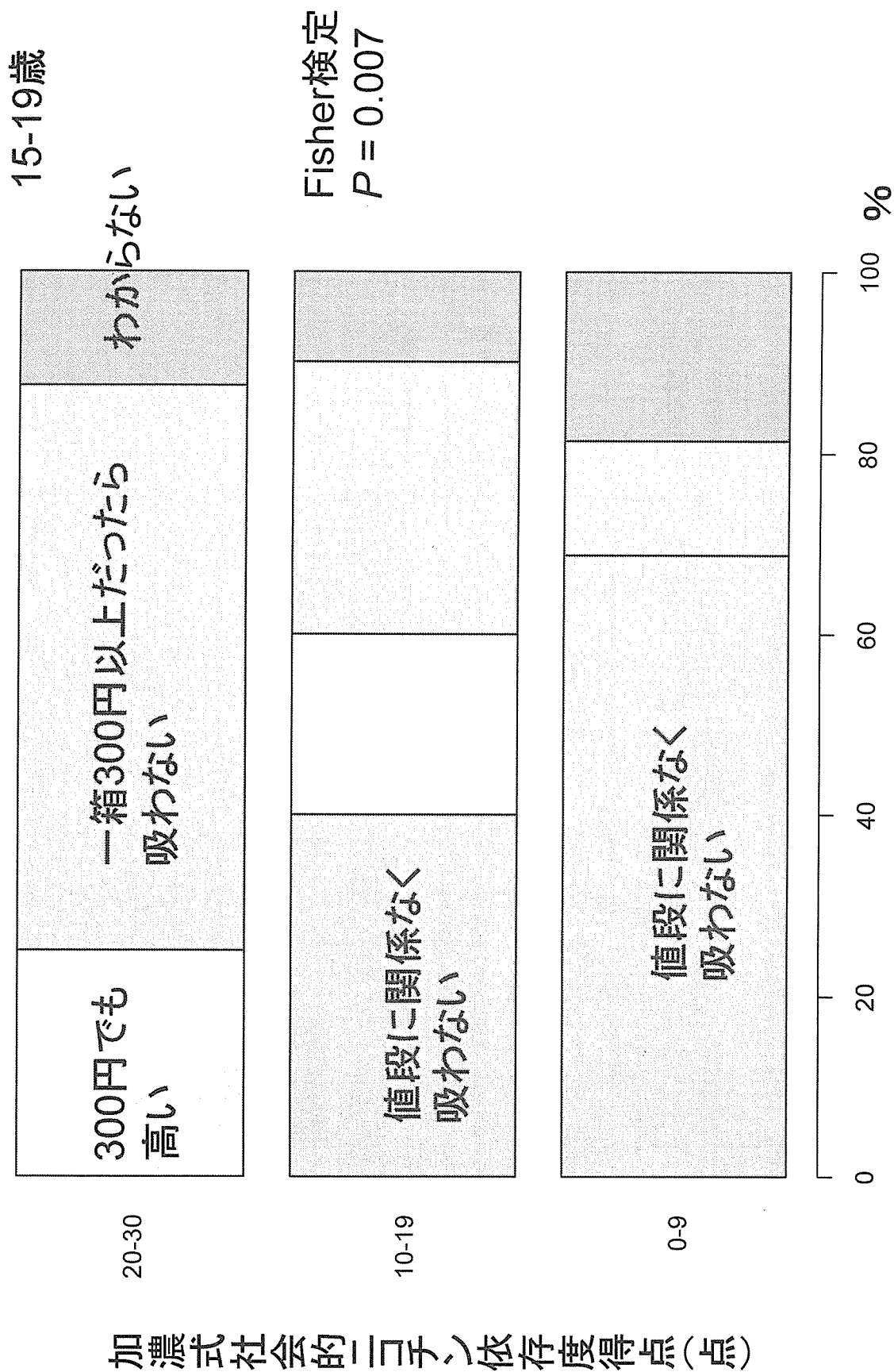
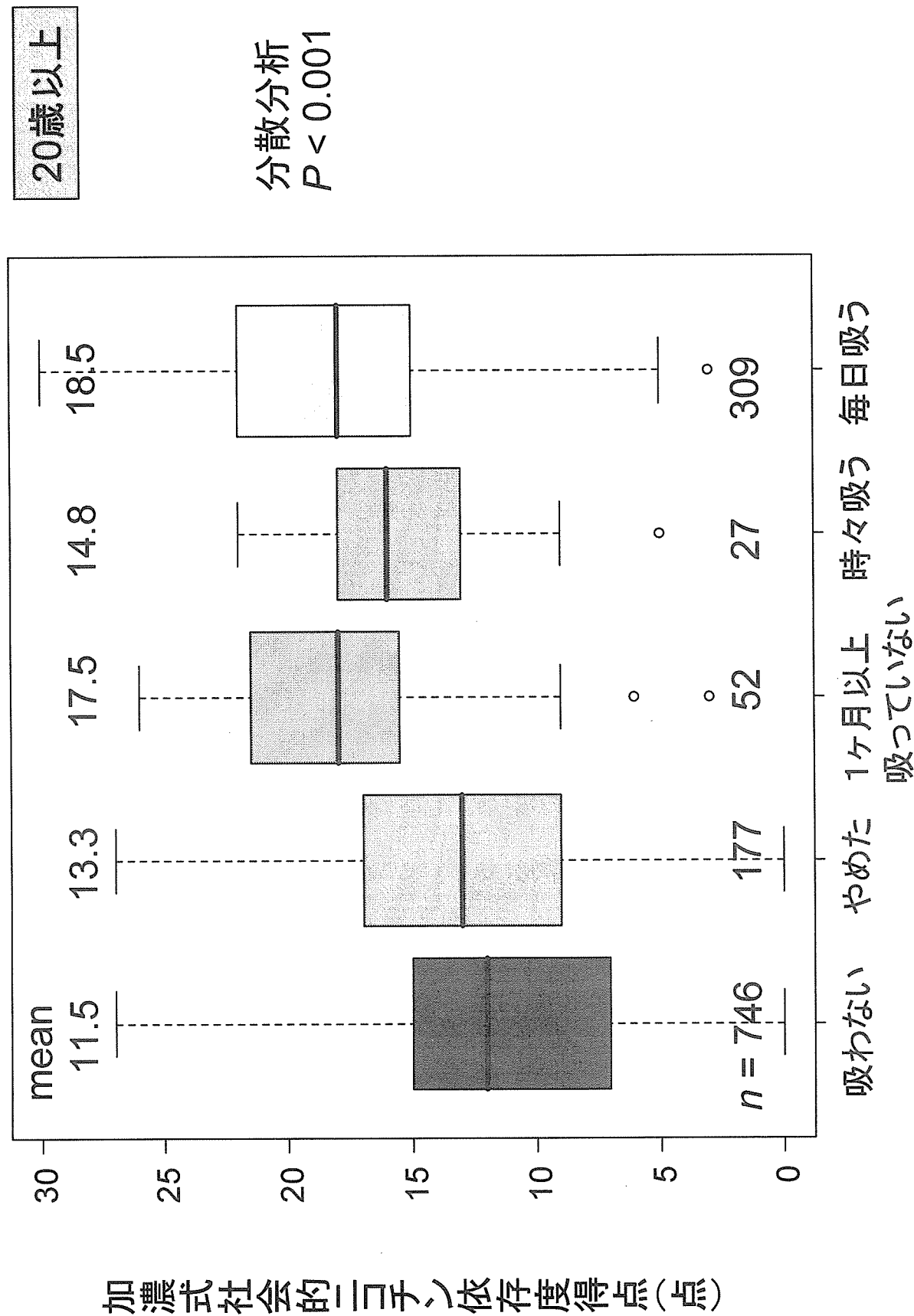


図7 喫煙状態と加濃式社会的ニコチン依存度得点



参考

喫煙状態と加濃式社会的ニコチン依存度得点 多重比較結果

1-never	2-past	3-abstain	4-sometimes
0.004	-	-	-
1.7e-11	4.6e-05	-	-
0.056	0.513	0.221	-
< 2e-16	< 2e-16	0.513	0.028

結論

15-19歳の未成年において、
加濃式社会的ニコチン依存度は、
喫煙可能性(値段による喫煙意思)
と関連していた